

製品名: RGS7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17101**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	RGS7
別名	RGS7; Regulator of G-protein signaling 7; RGS7
遺伝子 ID	6000.0
SwissProt ID	P49802
免疫原	抗血清はヒト RGS7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 155-204

背景

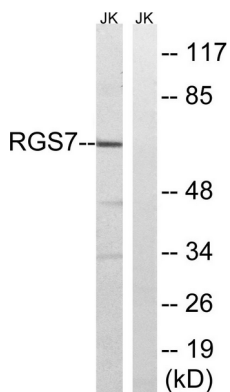
機能:G タンパク質 α サブユニットの GTPase 活性を亢進させることでシグナル伝達を阻害し、それによってこれらのサブユニットを不活性な GDP 結合型にします。G(o)- α に対する活性は、RGS6/GNG5 二量体によって特異的に増強されます。シナプス小胞のエキ

ソサイトーシスに関与している可能性があります。神経細胞の興奮性の急速な調節と短寿命刺激に対する細胞応答に重要な役割を果たす可能性があります。、PTM:パルミトイル化されています。、PTM:リン酸化とそれに続く 14-3-3 タンパク質との相互作用により、GAP 活性が阻害されます。、類似性:1つの DEP ドメインを含みます。、類似性:1つの G タンパク質 γ ドメインを含みます。、類似性:1つの RGS ドメインを含みます。、サブユニット:GNG5 とのヘテロ二量体。RGS7BP と相互作用し、Gbeta5 と形成されるヘテロ二量体の細胞内局在を調節します (類似性による)。 14-3-3 タンパク質タウおよび SNAP25BP と相互作用します。、機能:G タンパク質 α サブユニットの GTPase 活性を増加させることでシグナル伝達を阻害し、それによってそれらを不活性な GDP 結合型にします。G(o)- α に対する活性は、RGS6/GNG5 二量体によって特異的に増強されます。シナプス小胞のエキソサイトーシスに役割を果たす可能性があります。ニューロン興奮性の急速な調節と短寿命刺激に対する細胞応答に重要な役割を果たす可能性があります。、PTM:パルミトイル化されています。、PTM:リン酸化とそれに続く 14-3-3 タンパク質との相互作用により GAP 活性が阻害されます。、類似性:1つの DEP ドメインを含みます。、類似性:1つの G タンパク質 γ ドメインを含みます。、類似性:1つの RGS ドメインを含みます。、サブユニット:GNG5 とのヘテロ二量体 RGS7BP と相互作用し、Gbeta5 と形成されるヘテロ二量体の細胞内局在を制御する (相同性による)。 14-3-3 タンパク質タウおよび SNAP25BP と相互作用する。

研究分野

低分子 G タンパク質; 調節因子; シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; GPCR

画像データ



RGS7 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。